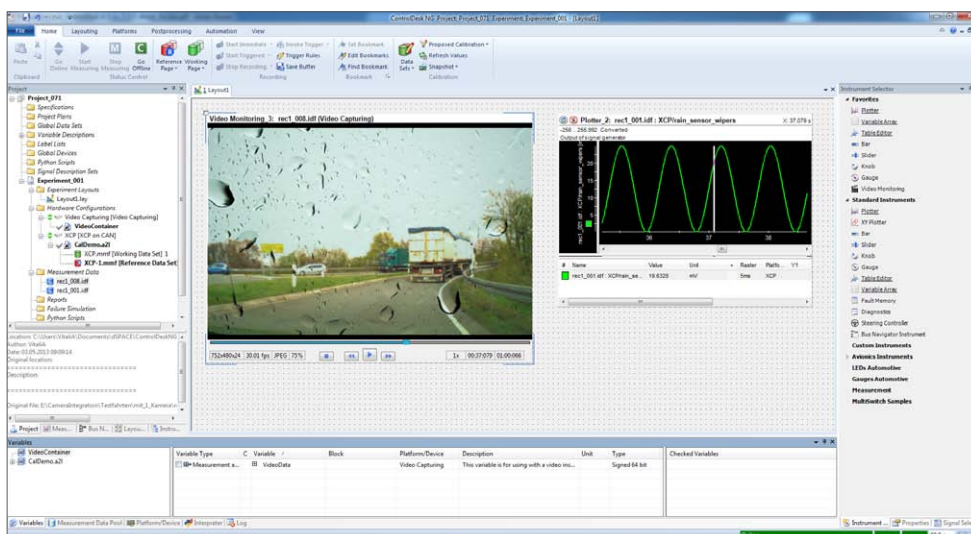




ControlDesk Next Generation (dSPACEの試験ソフトウェア)バージョン4.3は、自動車、航空、産業アプリケーション向けの大きな技術革新を実現します。たとえば、ビデオ計器を使用して統合カメラインターフェースを介してカメラ画像を記録し、計測記録と同期して再生することができます。航空分野向けには、高度計、人工水平儀、方位計、対気速度計を備えた新しいPrimary Flight Display (PFD) があります。

ビデオ計器とカメラインターフェースは、映像とバスデータを同期して記録および再生するために使用されます(下図は、新しいユーザーインターフェースを備えたControlDesk 5.0です)。



自動車、航空、産業向けの新しいControlDesk計器

A Clear View

RJ 95 C 11
1822

ビデオ計器とカメラインターフェース

ControlDesk®に表示される計測値と同期してカメラ画像を記録すれば、数多くの用途で役に立ちます。こうして記録された画像により、制御イベントの現実世界での効果を評価し、表示する際の品質を高めることができ、ユーザの創造力を自由に働かせることができます。想定される用途のほん

の数例を以下に紹介します。

- ワイパー制御とレインセンサ間の相互作用の検証
- ADASアプリケーションにおける制御イベントのビジュアル表示
- 産業用ロボット/製造機械の動作のビジュアル表示

ControlDeskは、これらの処理に必要なカメラインターフェースとビデオ計器を提供しており、業界標準仕様のカメラも、シンプルなUSBカメラも接続が可能です。また、映像はリアルタイムに計測と同期して再生できるだけでなく、何回でも繰り返し再生でき、必要に応じてエクスポートすることもできます。■

航空用計器

航空アプリケーションからの計測値は、ControlDeskが提供するリアルなコックピット計器（高度計、人工水平儀、方位計、対気速度計）を用いてビジュアル表示することができます。

ControlDeskのレイアウト上で使用されるこれらの計器は、計測またはシミュレーションのいずれの場合でも、航空機の動きにリアルな印象を与えます。

